

令和4年度「夏休み小・中・高校生福祉体験」を実施します！！

◎夏休み福祉体験について

次世代を担う小学生、中学生、高校生向けに福祉体験を通し、福祉について学び、～誰もが住みやすいやさしいまち～について考えます。

①内容

「特別養護老人ホームの取り組み」「障害のある方のお話」の動画視聴や「車椅子・介護ベッド・ポッチャ」体験

②対象：小学3～6年生・保護者、中学生、高校生

③日時：7月30日～8月22日（7日間 14回）

④場所：世田谷区福祉人材育成・研修センター

⑤募集：7月初旬に区立小中学校等へチラシ配付、「区のお知らせ」等で募集。



令和2年度 福祉体験の様子

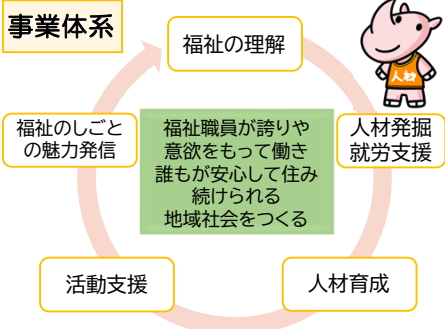
参加者の声より



- ・介護ロボットやICTを活用し、介護者の負担を軽減していることに興味をもった。
- ・介護ベッドや車椅子はもちろんスポーツの素晴らしさ、相手への思いやりを感じる事が出来ました。
- ・地域には多様な方々が生活していることを学び、こども自身ができることがないか気付くきっかけになりました。



令和4年度 研修センターの取り組み



研修センターでは、福祉人材の確保・育成・定着支援に総合的に取り組んでおります。5本の柱の事業の充実に努め、研修を通してサービスの質の向上、区民福祉の向上に取り組んでまいります。ご意見ご要望など、お気軽にお寄せください。



研修センター職員一同
撮影 マンジョット・ベティ氏

編集後記

小学校より続けている読書。はじまりは、区立の図書館で借りてきた歴史のマンガ本がきっかけで歴史が好きになりました。本がきっかけで大河ドラマもかかさず見るように。インターネット環境が普及した現在はネットやYouTubeなどでもみることができますが、本を読むとより満足感が得られるような気がします。今後も読書が続いていき、色々な歴史をすることができればと思います。

発行：世田谷区福祉人材育成・研修センター
〒156-0043世田谷区松原6-37-10
世田谷区立保健医療福祉総合プラザ1階
電話：03-6379-4280
FAX：03-6379-4281
HP：https://www.setagaya-jinzai.jp/



じんざいくん便り



令和4年6月 第13号

多くの方に福祉のしごとの魅力を知っていただくために、研修センターホームページ>福祉のしごとの魅力発信>「はじめよう福祉のしごと」で福祉のしごとの紹介動画を公開しています。7月には「訪問看護の仕事」の動画を公開します。



～新しい介護～
特別養護老人ホームの
業務や新たな取り組み



～ホームヘルパーの仕事～
訪問介護の仕事の内容や
働く方々の声



～世田谷区内特養ホーム
施設紹介～
区内特養ホーム1分間PR

訪問看護の仕事 紹介動画「在宅療養生活を支える訪問看護の仕事
～住み慣れた自宅で安心して暮らし続けるために～」

NEW

1. 在宅医療、看護の役割とは
在宅医療に取り組む医師から学ぶ
～最後まで在宅療養を考えると
GPクリニック自由が丘
医師 斉藤 康洋氏



2. 訪問看護の仕事の実際
桜新町ナースケア・ステーション
管理者 國居 早苗氏



3. 訪問看護～利用者の声
難病の患者、緩和ケア、医療的ケア児

4. 訪問看護師の声
・訪問看護の仕事を始めたい
・訪問看護の働き方
・訪問看護で悩んだこと
・訪問看護の魅力、やりがい



介護の魅力や誇りを伝えるKAiGO PRIDE@SETAGAYA写真展は、多くの方に好評をいただいています。詳細は、研修センターホームページ>福祉のしごとの魅力発信>KAiGO PRIDE@SETAGAYAをご覧ください。イベント等写真の貸出を行います。

色んな職種の「繋り」により、一人ひとりの支援が成り立っている。

KAiGO PRIDE@SETAGAYAトークセッション

職員も利用者も十人十色で違った価値観。だからこそ正解がない面白さがある。

その人らしく暮らしていけるような支援を一緒に考えたい。

KAiGO PRIDE@SETAGAYA

自らの言葉で仕事の魅力を語り発信することに意義があります。全国に広めていきたいです。マンジョット氏

介護の新たな可能性に触れることができました。介護の真実を知り、理解して想像してもらおう大きなきっかけになったのではないかと思います。保坂区長

一人ひとりが頑張っているところにスポットが当てられる取り組みです。石本氏

うめとびあの写真展が5月27日、NHK「おはよう日本～関東甲信越」に取り上げられました。

研修ピックアップ

令和4年度世田谷区ケアマネジャー研修【共通】ケアマネジャーの役割理解（動画研修）

視聴期間：令和4年5月16日（月）10時～6月16日（木）17時

受講対象は、これからケアマネジャーとして仕事を始める人、従事して1年未満の人ですが、実際は受講者の8割以上が経験年数6年以上で、経験年数1年以上の方が全体の半数以上いました。ケアマネジメントの実践に必要な倫理・知識・技術について学びを深めました。



講師：山田美代子氏
西片医療福祉研究会代表
医療ソーシャルワーカー

介護支援専門員 倫理綱領

日本介護支援専門員協会 平成19年3月25日採択

前文

私たち介護支援専門員は、介護保険法に基づいて、利用者の自立した日常生活を支援する専門職です。よって、私たち介護支援専門員は、その知識・技能と倫理性の向上が、利用者はもちろん社会全体の利益に密接に関連していることを認識し、本倫理綱領を制定し、これを遵守することを誓約します。

倫理綱領は上に掲げた前文と右の12の条文から成ります

条文

1. 自立支援
2. 利用者の権利擁護
3. 専門的知識と技術の向上
4. 公正・中立な立場の堅持
5. 社会的信頼の確立
6. 秘密保持
7. 法令遵守
8. 説明責任
9. 苦情への対応
10. 他の専門職との連携
11. 域包括ケアの推進
12. より良い社会づくりへの貢献

倫理綱領は業務を適切な方向へいざない、迷った時に軌道修正してくれるものです。ポケットに入れて持ち歩くなど、いつも近くに置き、迷ったときには読む習慣をつけましょう。



ケアマネジメントの機能

1. サービスの連結（リンキング）
2. 利用者の権利擁護（アドボカシー）
3. サービス内容の監視・修正（モニタリング）
4. ネットワーク作り（ネットワークング）
5. 地域ケアの組織化（オーガニゼーション）
6. 相談・助言（カウンセリング）
7. 分析評価（アナリゼーション）
8. 情報収集・提供（インフォメーション）

介護支援専門員の養成目標

1. 介護保険制度の知識
2. **コミュニケーション力**
3. ケアマネジメント実践力
4. 多職種連携チーム活用力
5. 省察的思考力
6. 生涯学習・教育力
7. プロ意識と倫理
8. 地域アプローチ

介護支援専門員にとってのコミュニケーション力は、アスリートにとっての筋トレと同じ。2日に一度は筋トレしないと筋肉は落ちていきます。研修を受けるだけでなく、振り返りや模擬面接（トレーニング）を行い、日ごろから鍛えましょう！



●ケアマネジメントプロセスの理解～ケアプラン作成の7段階を中心に～

ケアマネジメントの展開過程

- 第一段階 ケース発見・インターク
- 第二段階 アセスメント
- 第三段階 ケアプランの作成
- 第四段階 ケアプランの実施
- 第五段階 モニタリングと評価
- 第六段階 事後評価
- 第七段階 **終結**

ケアプラン作成のチェック

1. 「サービス優先アプローチ」に陥っていないかチェック
2. 生活の質へのチェック

高齢者の支援には卒業がないということでのよいのか？ 評価のないまま2年後もずっと同じケアプランというのはどうなのか？ 課題を達成したら終了する。お互いに評価する。終結があることを前もって利用者と家族に予告しておくことは大切。終結後も状況変化時には再開可能。

ケアプラン作成の留意点

1. 本人の在宅（または施設）生活継続の意思確認が図られているか。
2. ニーズに対する長期・短期目標
3. ケアマネジャー、利用者、関係者が実施するそれぞれの具体的な内容
4. 実施の責任の範囲、責任者、時間的な設定
5. その他



受講者の声（アンケートから）

・介護支援専門員の倫理について認識を新たにしました。・ケアマネジャーとして遵守すべき基本理念を再認識することができました。・倫理綱領を常に持ち歩き、迷った時の軌道修正に活用していきたいと思いました。・終結についてももっと語られるべきではとの先生の問いに、はっとさせられました。

・ケアプラン過程において「終結」ということがあり、それを事前に予告しておくことは大切だということに気付かされた。・コミュニケーション力はすぐに身につくものではなく、少しずつ積み上げていくものだとなった。・何のために何を行うかの根拠が確認できた。・日々の業務を振り返る機会になりました。

ケアマネジャーとして遵守すべき基本理念や、ケアマネジメントプロセスの過程について、具体例をあげ、丁寧に根拠を示しながらの講義で、基本を再認識することができました。



公開講座

事例MANGAで学ぶよりよいケアの実現

～実践例より～



介護職に求められることは、「知識」と「技術」、そして日々のケアの中で持つ「思いやり」の心です。忙しい時にも利用者をしっかり見て、利用者の心に寄り添い、その人その人のペースや想いに配慮したケアを心掛けることが出来るよう、利用者視点のケアポイントを分かりやすく事例漫画で学ぶことができます！

登場人物



ストーリー漫画によるケアポイントの説明なので、とても分かりやすい研修内容となっています。新人職員や、外国人人材の育成などで幅広く活用できるのではないのでしょうか。

動画のコンテンツ

- 第1部：“ちょこっとカンファ”でチーム作り、ケア作り（10分間）
- 第2部：利用者さんの“その人らしさ”を知ろう（10分間）

第1部①【排泄ケア編】安心と心地良さを感じて頂けるケア

ある日の排泄介助で、声かけが不十分だった職員の対応で、利用者の森さんは排泄介助に恐怖心を覚えるようになってしまいました。

まほさんは、利用者の森さんが怖い気持ちにならないよう、気をつけてケアを行うようにしました。

利用者さんに対する丁寧なケアと、ケアの手早さはそのバランスが難しいですが、丁寧なケアは利用者さんを落ち着かせ、結果としてケアのロスが少なくなることを学びます。

第1部②【入浴ケア編】安心と心地良さを感じて頂けるケア

利用者の西さんは、毎回お風呂のお誘いを拒みます。でも、お風呂の後はとても良い笑顔を見せて頂けるのです。

もっとスムーズに誘導できる方法はないものか…。

まほさんは「ちょこっとカンファ」を開催して、他の職員から、気持ちよくお風呂にお誘いできる方法について体験談・アドバイスをもらいます。

ちょこっと カンファとは？
もやもやを抱えた時など、気軽に行えるカンファレンスです

第2部①【食事編】食べることは生きる喜び

利用者の林さんは、カロリー・塩分制限の食事でストレスが溜まっている様子でした。ひろきさんは「ちょこっとカンファ」を開催します。

担当医師に相談の結果、食事量の調整と誤嚥への注意を払うことで、外食の許可を得ることができました。

お店の選定、ルートの下見、家族連絡、お店との打ち合わせを経て、林さん念願の外食会を開催。最後はホンワカとしたオチが…。

第2部②【記憶編】行動に垣間見る人生の物語

利用者の谷さんは、ベットの周りに沢山の紙や布を収集しています。でもそれは、谷さんにとってかけがえのない宝物なのです。

一見「何の変哲もない」ものでも、利用者の世界観や記憶の中では、それはその方の人生を映し出す大切なアイテムとなるのかも知れません。

第1部 動画QRコード

第2部 動画QRコード

ご視聴下さい！

【動画視聴研修】公開講座（申し込み不要！）

視聴期間：令和4年6月1日（水）～令和5年3月31日（金）
受講方法：研修センターホームページにて自由に視聴できます！



公開講座ホームページのQRコードです



企画・監修	世田谷区福祉人材育成・研修センター 立正大学社会福祉学部 土屋典子研究室
協力	医療法人社団 慈泉会 介護老人保健施設 うなね香霞苑
制作	ひいらぎ舎 https://www.kem-hiragi.com/